

未来の映像作家たちが震災を撮る

ドキュメンタリー映画上映会

入場無料
先着順

9/7 [水] 8 [木] 9 [金] 10 [土] 11 [日]

毎日 13:00-15:00 / ウィルあいち1階視聴覚ルーム

9/11(日) 上映終了後に制作者と観客の皆様とのティーチインを開催します

あなたへ



「こんな最中に勇誠は生まれてきたんだよ」
大きくなったあなたへ伝えてあげたい。
いっぱいいっぱい愛されて育ったことを。
それだけ、ただそれだけの、大沼家の記録。

制作：名古屋学芸大学 TV ゼミ

その日、大沼さん一家は福島原発から5kmの双葉町でいつも通りの一日をむかえていました。そして、震災、原発事故、着の身着のままでの脱出。3週間後、一家は愛知県への避難を決意します。その理由は、まもなく生まれてくる我が子のことを考えたからです。見知らぬ土地での生活、出産、子育て、そして防護服を着ての一時帰宅、この6ヶ月の大沼さん一家の心情はいがばかりか。映像が語ります。

外で遊んでいいの？



8月1日、21人の子どもたちが福島から愛知にやってきた。放射能汚染から逃れ、思いっきり外で遊ぶために。こうして23日間の「福島っ子サマーキャンプ in あいち」が始まった。

制作：名古屋ビジュアルアーツ

原発事故は、広範囲に被害を発生させています。避難区域外でありながら、局地的に年間累積放射線量が高くなるホットスポットもそのひとつです。福島県伊達市霊山町小国地区は、域内にホットスポットが点在しており、特に子どもたちの被曝が心配されています。たとえ夏休みの間だけでもこれまで通り遊ばせたい、そんな思いが多くの方の努力で実現しました。子どもたちは、楽しい夏休みが送れたのでしょうか？